令和7年度 第1回経営協議会議事要録

日 時：令和7年4月23日（水）10：00～10：53

場 所：オンライン（Teams）開催

出席者：太田学長、飯塚委員、大谷委員、尾崎委員、大拙委員、高橋委員、沼田委員、佐川理事・副学長（総括・財務・企画・評価）、久留主理事・副学長（総務・教育）、金野理事・副学長（学術）、下山田理事（社会連携・基金運営）、菊池理事（ダイバーシティ・国際・SDGs）

監事監査規則第9条第2項による出席者：人見監事、白田監事

議 題：

審議事項

- 1 国立大学法人茨城大学における学生納付金その他の費用に関する規則の一部改正について

報告事項

- 1 社会人リカレント教育プログラム専門コース（案）について
- 2 令和7年度資金運用計画及び令和6年度資金運用実績の報告について
- 3 長期借入金の償還状況について

議 事 概 要

I 審議事項（○：経営協議会委員 ●：大学事務局等）

- 1 国立大学法人茨城大学における学生納付金その他の費用に関する規則の一部改正について

国立大学法人茨城大学における学生納付金その他の費用に関する規則の一部改正について、資料1に基づき審議願いたい旨提案があった。次いで、財務課長及び教育学部長から説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

II 報告事項

- 1 社会人リカレント教育プログラム専門コース（案）について
社会連携センター長から、社会人リカレント教育プログラム専門コース（案）について、資料2に基づき報告があった。

【主な意見】

○既存のカスタムコースの受講実績はどうだったか。

●令和元年度のコース設置以降、全体で受講生は延べ300人弱である。また、9つの団体と協定を結んだ。

○新設する専門コースにおいても、企業や自治体と協定を結ぶことでより受講生が集まりやすくなるのではないか。個人からの申し込みによる受講としたのはなぜか。

●協定を結んだ企業・自治体で働く方に限らず、キャリアアップを目指す方、キャリアチェンジやセカンドキャリアを考えている方も幅広く受け入れていきたいと考えている。

○履修証明書の発行（単位の認定）が、キャリアにおいてどのように活かせるのかを分かりやすく説明していくことで、関心を持つ方が増えると考ええる。

○受講者の層を広げるために検討している具体的な履修方法はあるか。働きながら学びたい方は、オンライン授業の活用や、来学の頻度について関心があると考ええる。

●既存の学部生向けカリキュラムを基盤として運営をしていくため、既にオンラインにて開講されている科目についてはオンライン受講が可能であるが、対面授業の場合には、来学することが履修条件となる。週1回の受講で、スタンダードコースは2年、ライトコースは1年で履修が完了されると想定している。

○専門コースはどのような教員が授業を担当するのか。

●1人の教員だけではなく、様々な部局に所属している教員が授業を担当する。基本的には学内の教員だが、一部授業においては外部の専門家による授業も行われる。担当教員の顔や専門分野などが見えるような形での広報についても、検討していきたい。

2 令和7年度資金運用計画及び令和6年度資金運用実績の報告について

財務課長から、令和7年度資金運用計画及び令和6年度資金運用実績の報告について、資料3に基づき報告があった。

【主な意見】

●寄附金の運用先について、規定の範囲内で電力債以外にも広げていただきたい。

○検討する。

3 長期借入金の償還状況について

財務課長から、長期借入金の償還状況について、資料4に基づき報告があった。

III その他

1 全体を通じた経営協議会委員からの意見

特になし

2 監事からの意見

・令和7年度資金運用計画及び令和6年度資金運用実績の報告について、特に長期運用では、経済状況を鑑みても、償還期間が長いこと自体が高いリスクになるため、今後は償還期間についても十分に検討して資金運用をしていただきたい。

・短期運用について、定期預金の預入先が特定の金融機関に偏っているため、分散させることも検討していただきたい。

3 次回経営協議会開催日

学長から、次回は令和7年6月を予定しており、後日日程調整を行う旨、確認があった。